

当院採用のγ-グロブリン製剤一覧 ver3.0

製剤名	献血ヴェノグロブリンH 10%静注	献血グロベニン-I 静注用	献血ベニロン-I 静注用	ピリヴィジェン10% 静注	ハイゼントラ20% 皮下注
採用規格	0.5g/5mL 5g/50mL 10g/100mL	5000mg(溶解液100mL付)	2500mg(溶解液50mL付) 5000mg(溶解液100mL付)	5g/50mL 10g/100mL	1g/5mL 2g/10mL 4g/20mL
処理方法	ポリエチレングリコール処理	乾燥ポリエチレングリコール処理	乾燥スルホ化	pH4処理酸性	pH4処理酸性
Na含有量	0.1 mEq/L	154 mEq/L	171 mEq/L		
ヘパリン製剤との配合変化	不可(白濁)	可 ※メーカー回答	可 ※メーカー回答	データなし(原則単剤投与)	
適 応 症	低ガンマグロブリン血症、無ガンマグロブリン血症	○	○	○	○
	重症感染症における抗生物質との併用	○	○	○	
	特発性血小板減少性紫斑病 (他剤が無効で、著明な出血傾向があり、外科的処置又は出産等 一時的止血管理を必要とする場合)	○	○	○	
	川崎病の急性期 (重症であり、冠動脈障害の発生の危険がある場合)	○	○	○	
	多発性筋炎・皮膚筋炎における筋力低下の改善 (ステロイド剤が効果不十分な場合に限定)	○	○		
	慢性炎症性脱髄性多発根神経炎(多葉性運動ニューロパチーを 含む)の筋力低下の改善	○	○	○	
	慢性炎症性脱髄性多発根神経炎(多葉性運動ニューロパチーを 含む)の運動機能低下の進行抑制 (筋力低下の改善が認められた場合)	○	○		○
	全身型重症筋無力症 (ステロイド剤又はステロイド剤以外の免疫抑制剤が十分に奏効 しない場合に限定)	○			
	天疱瘡 (ステロイド剤の効果不十分な場合)	○	○		
	血清IgG2値の低下を伴う、肺炎球菌又はインフルエンザ菌を起炎 菌とする急性中耳炎、急性気管支炎又は肺炎の発症抑制 (ワクチン接種による予防及び他の適切な治療を行っても十分な 効果が得られず、発症を繰り返す場合に限定)	○	○		
	水疱性類天疱瘡 (ステロイド剤の効果不十分な場合)	○	○		
	ギラン・バレー症候群 (急性増悪期で歩行困難な重症例)	○	○	○	
	スティーブンス・ジョンソン症候群及び中毒性表皮壊死症 (ステロイド剤の効果不十分な場合)		○		
	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症における神経障害の改善 (ステロイド剤が効果不十分な場合に限定)			○	
抗ドナー抗体陽性腎移植における術前脱感作	○				
視神経炎の急性期 (ステロイド剤が効果不十分な場合に限定)			○		